

世界遺産委員会勧告への対応の進捗状況について

1. 経緯等

2021 年遺産登録時の世界遺産委員会勧告における 4 つの要請事項（観光管理、ロードキル、河川再生、森林管理）に対応するため、地域連絡会議の下に各タスクフォース（TF）を設置して対応を検討し、2022 年 12 月にユネスコ世界遺産センターに保全状況報告書を提出した。現時点で IUCN からの反応はない状況で、引き続き保全状況報告書を踏まえた取組を進めていく。

また、2025 年 7 月の世界遺産委員会において、第 4 期定期報告を 2026 年 7 月より開始予定であることが判明。日本を含むアジア太平洋地域は 2027-2028 に作業し、2029 年の遺産委員会にて報告予定。なお、定期報告は規定のアンケート様式に基づき報告するが、様式は未定。

2. 要請事項への対応の進捗状況

（1）観光管理

- 観光管理 TF（沖縄県事務局）は西表島観光管理計画の策定を持って終了し、各会議体・機関による取組に移行
- 対応の進捗は各部会報告の中で説明

（2）ロードキル対策

- ロードキル TF（環境省事務局）は 2023 年に終了し、各会議体・機関による取組に移行
- 対応の進捗は各部会報告の中で説明

（3）河川再生

- 河川再生 TF（環境省事務局、座長：熊本県立大学島谷幸弘特別教授）は、年 1 回開催し、河川再生戦略を踏まえた取組状況のフォローアップを実施。
- 今年度は知床の河川工作物の取組について視察を実施する予定だったが、ヒグマ被害の影響で中止となった。
- 2026 年 1 月 15 日に TF を開催。今後の TF では、河川再生戦略に基づく取組状況のフォローアップに加え、遺産周辺も含む情報交換を行っていくこととした。知床世界自然遺産における河川再生の取組（北海道大学名誉教授 中村太士氏）に関する講演を実施した。

（4）森林管理

- 森林管理 TF（鹿児島県事務局）は、2024 年に休止し、各会議体・機関による取組に移行。
- 対応の進捗は各部会報告の中で説明